

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4 年次生 樽屋 志保

## 1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2018 年 8 月 18 日から 27 日の 10 日間にわたり、語学・薬学研修として、カナダのブリティッシュコロンビア州バンクーバーを訪れた事について報告いたします。現地ではホームステイをしながら、平日は VIC という語学学校で医療英語レッスンや、医療関係施設の視察を行いました。

## 2. ホームステイについて

ホームステイ先は語学学校のあるダウンタウンからバスと電車で 40 分ほどの「ニューウェストミンスター」という地区で、ホストファザー、マザーと女の子と男の子が一人ずついる家庭にお世話になりました。留学生を受け入れ慣れている家庭で、生活空間は別でありながらも、買い物へ行く時に「何か必要なものはない？」と聞いてくれたり、私が出かける時には「どこに行くの？」と声をかけてくれたりと、快適に過ごすことができました。

また、英会話上達の為に仕事を辞め、カナダに来た日本人女性もステイされており、色々な話を聞いたことなど、思わぬ出会いがあったのも嬉しかったです。カナダは多国籍社会であり、ホストファミリーによってかなり生活スタイルや食生活が異なると聞いていたので、出発前は不安もありましたが、料理もとてもおいしく、良い家庭に受け入れて頂けたと思います。

平日の学校帰りや休日には、ショッピングや美術館の無料開放、観光にも行き、楽しく充実した 10 日間でした。

## 3. 語学学校について

今回訪れた VIC は「休み時間も日本語禁止」というルールのもと、通常とは別の医療クラスを受講しました。担当の先生から症状や痛みなどの英語表現について学び、ゲストスピーカーの現役救急隊員や、薬学専門の医師の方に、それぞれの仕事やカナダの医療現場についてお話を聞きました。日本とカナダでは医療・保険制度も大きく異なり、難しい専門用語もありましたが、他国の制度を知り、日本の制度についても考えさせられる良い機会となりました。救急隊員が注射できる一部の薬を携帯していることや、大きな病院で治療を受けるのに何カ月も待つことがあるといった点は、日本と大きく違っていました。特に、「最初に行くクリニックは、科が別れていない」ということには個人的にとっても驚きました。



救急隊員のセット内の一部

平日午後の施設見学では St. Paul's Hospital の薬剤部、Union Gospel Mission というリカバリーセンター、職業訓練専門学校、Vancouver General Hospital の4ヶ所を訪問しました。

まず初めに訪れた St. Paul's Hospital は病床 500 の、バンクーバーダウンタウンで一番大きな病院でした。こちらの薬剤部ではほとんどの処方箋が入院患者のもので、35 人の薬剤師と 65 人のテクニシャンで運営しているとのことでした。その中から 3 人の薬剤師が薬局で処方監査し、病棟にはカウンセリングのための薬剤師がいるそうです。ここでの日本との違いは、薬剤師はピッキングや注射剤の調整などはせず、すべてテクニシャンがしているという点でした。1 日に処方箋 400~500 枚ほどの大規模なこちらの病院だけでなく、カナダでは処方箋が手書きなのも驚いた点の一つでした。

次に Union Gospel Mission というリカバリーセンターを訪問しました。ここはアルコール中毒者や薬物依存者、ホームレスなどの自立支援を行う施設です。バンクーバーは家賃が高く、働いていても家を借りられない方がいるそうです。この施設ではキリスト教の精神にのっとり、そういった人一人一人を尊重し、食事と安心できる場所を提供したり、依存からの回復の為のセラピーを行ったりしています。ここでは、支援をしすぎないようにバランスをとりながら、知識や情報、居場所を与え、本当に自立を望む人の援助を行っていると言っていました。日本にはこういう施設はあまりない上に、薬物依存の問題もバンクーバーほど深刻ではないので、とても自分にとって新鮮で、意義のある見学だったと思います。

職業訓練専門学校では、薬剤師の下で働くアシスタントになるコースの講義内容やカナダの医療制度について教えて頂きました。

Vancouver General Hospital では、診療科によって棟が分かれた大規模な大学病院のような雰囲気、日本とも少し似ている部分があると感じました。

#### 4. 最後に

今回のカナダ研修で、日頃の学生生活では関わりのなかった他学年の人達や、ホストファミリー、学校など現地の多くの人達とも関わる良い機会となりました。余った時間での観光では自然のきれいなカナダを、生活や通学では移民国家ならではの街や人々の空気が感じられ、とても良い経験になりました。短い滞在ではありましたが、今回の留学で見た海外の様子やそれを見て得たことを、今後の学生生活と将来働く上でしっかりと活かせるようにしたいと思います。

